

<川越市>

『K-川越市議ハラスメント疑惑の真相』

第 3 回 「隠された不都合」

<https://www.youtube.com/watch?v=dtAki0HHVW0&feature=youtu.be>

立て続けに公開…配信されているドキュメンタリー動画『K』の第3回を早速拝見した。今回、特筆すべきは被害を訴えた「女性A氏」の不可解さに焦点を当てていた点だろう。本紙でさえ気がつかなかったが、確かに「女性A氏」は市職員としての本来のサービス時間に、2度も告発記者会見を行っている。もしも、市職員のサービス規程通りに上司の事前承認を得ていたとしたら、議会事務局が告発記者会見を容認していたことになり大問題だ。

さすがに国際的ドキュメンタリー監督の切り口というべきか、このドキュメンタリーはその矛盾を鋭く突いている。動画内で、議会事務局の回答が示されるが、それは「仮にサービス規程違反があれば適正に対処する」との曖昧なもので「女性A氏」のサービス規程違反があったのか、なかったのかは答えていない。通常ならば、市として疑惑を持たれないためにも「サービス規程違反はなかった」と言明すれば良いものを「違反があれば適正に対処する」とは、まるで議会事務局自体が「答えられない立場だと、わかってくださいよ」と苦しい胸の内を吐露しているかのようでもある。

回を重ねるごとに核心に迫るかの本作動画『K』は本紙のような活字メディアにはない「映像の力」で、真相をわかりやすくひも解いている。

大バッシングの的となった「太ももを触った」との事例では当時の様子を実際の店内で再現して見せている。なるほど「このような状況ではセクハラなどあり得ない」と一目瞭然に理解できる。

本紙でもこの問題を図式入りで記事にしたが、やはり再現映像の力には及ばない。気になるのは、この第3回の最後に語られた**「次回は事件が大きな動きをみせる瞬間をお届けする」**という意味深なナレーションだ。

「瞬間をお届け」とは、どういう意味なのか…目が離せなくなってきた。